

白根市民憲章

母なる信濃川に、はぐくまれた白根市民は
先人の築いた大いなる遺産をひきつぎ、未来
をみつめ、郷土の発展をめざす道しるべとし
て、ここに憲章を定めます。

美しい自然のあるまち
たがいに助け合う しあわせなまち
文化とうるおいのあるまち
健康で働く豊かなまち
きまりを守り 明るく楽しいまち

私たちは、意見を出しあい、協力しあい、
創意と工夫をこらし、市民としての誇りと希
望にみちた、住みよいまちをつくります。

(2)

より充実へ

きめこまかな施策を



白根市長
吉沢正五

あけましておめでとうございます。
一九八〇年代の幕明けを迎え、市民の皆さまには、新たな希望
に胸をふくらませておられることとご推察申し上げます。
私は、常に市民の皆さまの繁栄と福祉の向上をめざして、努力
を続けてまいりましたが、ここに新しい年を迎え、市政をあずか
る者として、さらに責任の重大さを痛感し、なお一層精進を重ね、

白根市発展のために最善をつくす所存であります。
新春にあたり、近年国政段階でも見直されつつあります地方の
時代を再認識し、地域の充実をめざし、次の三つのことを重点施
策として、市民の皆さまのご理解をいただき市政を推進してまい
りたいと思います。

① 都市機能の整備と地域に密着した施設の充実

市の総合計画でも構想いたしておりますように、都市は、都市
住民の生活のよりどころであると同時に、地域の結節点として周
辺農村地域の就業の機会、ショッピングや医療・教育・文化など
での、高次のサービス機会を提供する場であり、それなりの施設
の集積とともに、都市部と農村部とを連続一体の圏域としてとら
え、相互の連携を高めて行く必要が痛感されます。

このような考え方で、継続的に推進してまいりました生活道路
の整備、地域生活センターの建設、保育所の整備、農村総合整備
モデル事業、大規模ほ場整備事業、都市計画事業、都市ガスの全
市供給事業などについて、強力的に推進してまいります。

また、市民各層の要望も強く昨用地買収の完了した総合体育
施設につきましては、基本計画設計と一部の整備を行ってまいり
ますし、地域医療制度確立のあしがかりとしての保健センターの
建設、消防機能の拡充のため市北部地内への消防分署の建設など
きめこまかな施策を展開してまいります。

一方、市民の雇用をまかなう産業の育成、弱い立場におかれた
方々への福祉施策として、従来通り公共投資と行政指導を積極的
に行ってまいります。

② 教育文化の充実

昔から衣食足りて礼節を知るといわれますが、反面、人間は、
やりくりが苦しい時こそ先を考える必要がありますように、特に
次代を担う子供たちの教育を大切に行かねばなりません。
したがって、義務教育面では、今年も関係住民の皆さまのご理
解を得るなかで勇断をもって危険校舎の改築および統合校の新築
などに取り組んでまいります。

また、国民生活の向上にともない、いまや人間性豊かな文化の
享受は、全国的な要望であります。
市におきましても、香り高い文化の創造をめざし、社会教育施

(3)

住みよいまちへ

力強くステツプ

若者が集まれる 施設を



連合青年団長
藤井孝志さん

白根市は、他の市町村から見て体育施
設が少ないですね。総合体育施設の建設
を一日も早く望みます。

それに、いま若者が集まれる施設とい
うと、青年教育センターぐらいしかあり
ません。現在、利用している人は20歳前
後ぐらいの人ばかりのようです。だから
それ以上の年齢の人は、ちょっと利用し
にくいのではないのでしょうか。それで、
教育センターとは別に、若者が気軽に集
まれる施設を、もう1か所つくってもら
えないでしょうか。

白根地区は、青年が多いわりに青年団
活動に参加する人が少ないんです。今年
は、白根地区からも多くの方が参加して
もらえるように努力していきます、それ
に、各地区の活動の見直しもやりたいと
思っています。

各地区の公園整備 一日も早く

5～6年前から見ると、児童公園とか
生活道路などは、着々と整備されてきて
います。しかし、各地域の公園整備はま
だまだと思います。この前の市政モニタ
ー会議のときにも、公園整備の話が出ま
したが、寺社や空き地などを利用して遊
具を入れ、子どもたちの遊び場を一日も
早く整備してほしいです。

また、ちょっと雨が降ると、水が
上がるという地区もあるので、宅地排水
や下水路の整備も忘れずに……。

白根市は、人が集まる施設が不足して
いると思うので、市民会館的なものを一
日も早く建設してください。



市政モニター
上杉正則さん



老人クラブ会長
小山三一郎さん

老人福祉を もっと強化

今年は、白根小学校の体育館が新しく
出来るので、老人運動会をもっと盛んに
やりたいですね。

私たち老人も、勉強会などを行って会
員の向上をはかっていきますので、市の方
でも、老人への福祉事業をもっと強化
してほしいです。たとえば、老人センタ
ーのバスをもう一台増やしてもらうなど
を……。そうすることによって、老人セン
ターを利用する人が、もっと増え、また、
老人同志の友情も深まると思いますよ。

私たちが児童公園を掃除しても、その
あとからもう空きかんや空きびんなどが
落ちています。何か立て札を立てたり、
広報するなどして、市から注意を呼びか
けてほしいですね。

いくら国策でも 減収農家を考えて

私たち農家にとって一番大きな問題は、
何といても水田利用再編対策ですね。
今年もかなり厳しい状況です。こう毎年
減収が増えてくると、つくる作物もなくな
りますよ。田を4～5町歩も持っている
農家は、6反ぐらい減反しないといけ
ないんで、大変苦しいと思います。ひど
いところは、年間100万円の減収という
農家もあります。

いくら国の施策だからといっても、も
っと農家の立場をよく考えてほしいです
ね。それに、諸物価が上がっているのに、
米価はここ2年据え置きですし……。ち
よっとおかしんじゃないですかね。

農政サークルとしては、会員みんなで
農業技術をもっとよく勉強していきたい
と思っています。



農政サークル会長
大橋忠弘さん



小林地区婦人会長
西村スミさん

新世代の対応 みんなて話を

1980年代は厳しい世代に入ると予想さ
れます。省エネルギーへの対応一つを考
えても、お金や呼びかけだけでは解決で
きない問題ではないでしょうか。

これからは、お互いが賢い消費者とし
て、資源愛護に努めていかなければと思
います。

また、青少年健全育成もこれからの重
要な問題だと思っています。私たちも集ま
って話し合っていかなければならないの
ですが、勤めている人が多く、人を集める
のに大変です。それで、せめて市内の企
業だけでも週休2日制にと、行政の立場
から呼びかけてもらえないでしょうか。
そして、新しい世代に対応するため、み
んなて話し合い、認識を深めていきたく
と思っています。

昭和55年の新しい年があげました。
1980年代の最初のステップ——新しい
時代にむけ、船出、です。みなさんは
どんな気持ちでむかえられましたか。
5人の方から今年の抱負・市への希
望などをお聞きました。